

令和5年度大阪府立吹田東高等学校

第3回学校運営協議会

日時：令和6年2月6日（火）

場所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

委員	吉川 正晃	吹田市立千里丘中学校 校長
	和田 大志郎	吹田東高等学校 後援会会長
	柏渕 眞理子	東山田青少年対策委員会委員長
	金子 久美子	吹田東高等学校 PTA会長
	佐伯 勇	甲南女子大学教授
	城下 英行	関西大学社会安全学部准教授

校長	東 知佐子	吹田東高等学校	校長
事務局	松本 厚史	吹田東高等学校	教頭
	岡本 秀樹	吹田東高等学校	事務長
	村上 明弘	吹田東高等学校	首席
	山室 裕	吹田東高等学校	首席

◆開会挨拶

大阪府立吹田東高等学校 校長 東 知佐子

◆議 事

○報告事項

(1) 授業アンケートについて 《資料①》

(東校長より資料説明)

○第2回実施時期・方法

- ・令和5年度12月22日（終業式）マークシート方式
- ・アンケート結果 個人の集計結果（全員）、記述内容（該当教員のみ）を返却
- ・自身で数値やフリーアンサーに記述された意見については分析し対策を校長に報告（予定）
- ・第2回授業アンケートは8月～12月末までの結果となる。

○結果分析

【学校平均】

- ・令和元年度に大きく値が向上し、令和2年度にさらに向上した。令和3年度以降は、その向上した令和2年度を若干上回る結果となっており、ICT活用や多面的な評価等、さまざまな工夫を行っていることが結果に繋がっているように見受けられる。
- ・第1回に比べて「生徒理解」がやや下がったものの、それ以外の項目では第1回以上の成績が出ている。
- ・最も重視している「授業に関する生徒の意識1・2」についても、初めて第1回より少し上がった。
- ・学校教育自己診断においては、生徒の授業満足度は令和3度著しく向上し（82%）、令和4年は77%、今年度は74%の満足度となり下がっている。授業アンケートとは違った結果になっているので、合わせた分析が必要。
- ・授業アンケートとしては、教員間格差が非常に開く結果となっている。

○本校の授業改善活動

- ・中間考査後より公開授業週間を実施し、各教員1回は他の教員の授業を見学し「授業観察シート」を指導教諭に提出することとした。
令和2年度から「授業観察シート」の提出又は研究討議への参加を義務付け、授業観察が積みあがる形を取り、今年度は98%の教員が行った。(授業見学は全員行った。)
- ・今年度は公開授業週間において、1人1台端末を使用した授業を研究授業の対象とし、9つの授業で研究討議を行った。1人1台端末を使用したクイズやグループワークやレポート提出、英語の音読テストの実施など、バリエーションに富んだ使用方法が見られた。外部からも6名の見学者が来られた。

委員 過去6年のデータをグラフにして分析したが、最初の2年は変動が見られたが、その後は変化がなく安定している。もう少し細分化すると見えてくるところがあるのではと感じた。

Q 委員 教員格差についてもこの数年は同じ傾向か。

A. 今年についてはさらに開いている。

(2) 学校教育自己診断について 《資料②》

(村上首席より資料説明)

○結果と分析

- ・アンケート全般では、この3年間において生徒・保護者とも多数の項目でほぼ同様の傾向を示している。
- ・「吹田東高校に進学して(させて)よかった」の肯定的回答が、生徒は約83%、保護者は約88%と高い。
- ・生徒指導については、生徒・保護者とも肯定的回答が7割近くになっている。校則等については見直しも含め検討していく。
- ・今年度はコロナ禍による規制が軽減されたこともあり、多くの行事でコロナ禍以前の形態が戻ってきたため、「学校行事が充実するように工夫されている」「自分自身は体育祭、文化祭などの生徒会活動やクラス活動に積極的に参加している」のなど行事に関する値は今年度も上昇した。
- ・「授業」についての生徒の満足度は、令和2年度の69%から令和3年度の82%で大幅に上がりましたが、直近2年は令和4年度77%、令和5年度74%と低下傾向を示している。授業アンケートの結果も参考にし、より良い授業づくりに努めていきたい。
- ・生徒の設問22と保護者の設問23は、昨年までと質問項目を変更し、地域との交流だけでなく、外部(大学、企業、海外姉妹校等)との交流する機会がありますか、という質問にした。外部連携に注力していることもあり、これらの項目については、肯定的回答が大幅に増加している。
- ・進路指導についての肯定的回答率は3年続けて88%以上をキープしている。学校の先生が実施する講習(生徒設問30)や青葉丘セミナー参加者の満足度(生徒設問34)は今年度93%以上ととても高い値となっている。
- ・「施設・設備」についての満足度は生徒・保護者とも80%以上の高い値を維持している。さらに、各部屋のWi-Fi環境やプロジェクターの整備等を行った。プールの改修工事も進めており、今後も施設・設備の改善を進めていきたいと考えている。
- ・令和4年度よりWithコロナの方針で活動したことにより、保護者の「公開授業や文化祭・体育祭、講演会などの学校行事に出席したことがある」の肯定的回答は75%に回復し、令和5年度も78%と高い数値を維持している。
- ・1人1台端末については多くの授業で有効的に活用され、79%の生徒が使い方に満足している。
- ・Webページの閲覧率は例年低いが、在校生徒への連絡や情報等の多くはGoogleクラスルームで行っている。
- ・教職員に関しては「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている」「教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる」「教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるように配慮している」等で「よくあてはまる」の値が大きく上がっている。

Q.委員 S 講座の 2 年生の受講者数が少なくなるのはなぜか。

A. 例年同じ傾向が見られる。英検対策を行っているが、2 年生では 2 級対策なので難易度が上がることで、1 年次に受講して講座の趣旨に合わなかった生徒が受講を見送ること、が要因と考える。

Q.委員 いくつかの項目で 2 年生の値が低い何か原因があるのか。

A. 例年同じ傾向だと思うが、教員との関係性の質問では学年ごとに上がっている。次年度以降注視してみる。

Q.委員 保護者アンケートの回答率はどのくらいか。

A. 生徒は考査最終日に一斉に行い、保護者は生徒が持ち帰ってマークカードで回収しているが、9 割以上回収できている。

(3) 令和 5 年度学校経営計画の達成状況について 《資料③》

(東校長より資料説明)

○本年度の自己評価の達成状況の説明

(4) 創立 50 周年記念式典・記念行事の報告 《資料④》

(松本教頭より資料説明)

○記念式典・記念行事の概要 (12 月 16 日 吹田市文化会館メイシアター大ホール)

・開式の辞、国歌斉唱、校歌斉唱、実行委員長式辞、学校長式辞、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露
生徒代表 慶びの言葉、記念品贈呈、記念講演、卒業生ビデオレター、芸術鑑賞、生徒発表、
本校 23 期生作曲家 船本孝宏様と在校生のコラボレーション

(5) 吹田東高校の探究活動とルールメイキング活動について 《資料⑤》

(東校長より資料説明)

○「教育 PRO」に掲載された本校探究活動の記事【吹田東高校が取り組む探究学習】の紹介

○「日本教育新聞」に掲載された本校ルールメイキング活動記事【子どもと創る新しい校則 (ルール)】の紹介

○協議事項

(1) 令和 6 年度学校経営計画について 《資料⑥》

(校長より資料⑥の令和 6 年度学校経営計画及び学校評価の説明)

○めざす学校像について

・スクールポリシーに基づいて作成

○中期的目標について

・昨年度と大きな変化無し

【令和 6 年度学校経営計画のめざす学校像及び中期的目標は承認された】